



根平棚田で稲刈りに精を出す

志藤ちよるさん（84歳）

広報

あさひまち10

ASAHI-MACHI

平成12年
(2000年)
月号
NO.527



青年大会とは

青年大会は、県下の青年団員が一堂に集まって、スポーツ、文化、芸能、意見発表など、日ごろの活動の成果を十分に発揮し合う、山形県連合青年団が主催する最大の行事で、毎年開催されています。

この大会の趣旨は、地域に根ざした活動の成果を互いに発揮することによって、青年団の意識の向上と団結を図り、団員相互の親睦を深め、さらに、郷土の建設、地域社会にも貢献しようというものです。

第29回朝日町大会は、昭和55年9月6日から3日間開催され、37市町村から約3000人の青年団員が参加しました。

特集 ● 第29回山形県青年大会朝日町大会を振り返る

あの情熱を再び まちおこしに

「緑の大地に汗と友情の輪を広げよう」をスローガンに開催された、第二十九回山形県青年大会朝日町大会から、ちよつど二十年がたちました。

今回は、当時実行委員として活躍された四人の方にお集まりいただき、青年大会の思い出や青年団活動などについて語っていただきました。

忙しいなりに 充実した毎日だった

●司会 先日、青年大会を記念して埋めたタイムカプセルが二十年ぶりに掘り起こされました。当時を思い返す写真や資料、Tシャツなどがたくさん出てきてとても懐かしく思いましたが、

みなさんはいかがでしたか。
●阿部 そうですね。華やかな青春時代がバツとよみがえってきましたね。特に、大会に備え四十日間禁酒したことを思い出しましたよ(笑)。あのころは青

広報座談会出席者



五十嵐義信 さん
舟渡在住
当時25歳。文化部長



阿部 為吉 さん
常盤在住
当時26歳。実行委員長



渡邊 良明 さん
大谷二在住
当時22歳。体育部長



渡邊はるみ さん
前田沢在住
当時19歳。接待係



司会 清野 則昭 広報委員
四ノ沢在住
当時20歳。進行係

苦勞した分だけ 得たものは大きかった

年団事務所から朝方帰って、牛の乳しほりをしてから寝るといいう毎日で、体重が四十八キロまで落ちたほどでした。

●渡邊へ良> そうそう。「命がけでしてた」と言っても過言じゃないくらいに、みんな一生懸命だったね。

●五十嵐 毎日仕事が終わると青年団事務所へ行って、真夜中

まで会議。睡眠時間が三、四時間くらいで、「よく体を壊さなかったもんだ」って、今思いますよ。

●渡邊へは> だって、あのころはみんな若かったもの（笑）。今では四十前後のいい年になってしまったけど（笑）。

●阿部 忙しいなりに充実した毎日だったよな。

●司会 それでは、当時の状況などを少し話してもらうことにしましょうか。

●五十嵐 そうですね。まず、青年大会を呼ぼうという、そもそものきっかけは、県内の若者にもっと朝日町のことを知ってもらいたいということからだったと思います。朝日町と言っても庄内の朝日村と間違えられ、ガツカリすることがよくありましたから。

●阿部 大会を招致することによって町の青年団活動を盛り上げ、地域に根ざした活動を進めようというねらいも私たちにはありました。

●渡邊へ良> 朝日町大会は、県内三十七の市町村から約三千人が参加し行われましたが、こ

のような大きな大会を開催するのは初めてだったので、準備の段階では不安がありましたね。

●渡邊へは> 大会の目玉は民泊だったと思います。町民のみなさんから協力していただき、庄内や最上、置賜から参加した選手や関係者、約千二百人を受け入れました。地区によっては、公民館で歓迎会をしてくれたところもあり、町民みんなが交流を深めた意義ある大会だったと思います。

●五十嵐 そうだね。青年の大会とは言っても、いろいろな方から支えていただいた大会だったね。

●渡邊へ良> 「励ます会」ができるなど、町全体で私たちを応援してくれていたと思います。

みんなの励ましがとても心強くうれしかったですね。

●阿部 すべてのが良い思い出だけど、一番の思い出は、看板やブラカード、ポスターなどを一枚一枚手づくりしたことかな。

●五十嵐 西五百川小学校の土俵もそう。村山農業高校相撲部の監督さんに指導してもらってみんなで作りました。山に土を取りに行つて、塩を混ぜながら固めて、完成まで一週間ほどかかりました。その土俵が今も使われているのだからすごいですよ。

●渡邊 へ良 私が一番苦労したのは審判の割り当てです。青年大会と言っても国体のようなレベルの高い大会だったので、とても気を使いました。その審判が急きよ来れないという連絡が入った時は、非常に困りましたね。青年団OBの人に何とかお願いして助けてもらいましたが、あの時は本当にありがたく、感謝しましたよ。

●渡辺 へは 当時私は十九歳だったので、みんなについていくだけで精一杯でした。だから、苦労という苦労はしていないんですよ。為吉さんたちに引張ってもらったというのが本当のところですよ。上に立ってまとめしてくれる人たちがいたから、青

年団に入つたばかりの私でも何とかついていけたんだと思います。

●阿部 いやいや、そんなことはない。みんなが自分の持つている力を十分発揮してくれたから、うまくいったんだと思うよ。人にはいろいろな能力があつて、ふだんは気づかないみんなの優れた一面をあの青年大会が引き出してくれた、そんな気がするけど。

●司会 では、青年大会でみなさんが得たものは何ですか。

●渡邊 へ良 嫁さんを見つけたことかな(笑)。大会が縁で結婚したカップルはたくさんいたよね。義信ちゃんもはるみちゃんも則昭くんもそうだろう。

●三人 そうだね。

●阿部 俺は嫁さんを青年大会で見つけられなかったので(笑)、得たものと言ったら、人と人とのつながり、友情ですかね。今でも一緒に汗を流した仲間とは、「お、久しぶり、元気だったか」と気軽に声をかけられます。それが一番の宝ですよ。

●渡辺 へは その仲間と共に成し上げた喜びや感動は大きいですね。互いに苦労を分かち合い、大きな問題もみんなで乗り越えてきたからこそ、あの感動が味わえたと思います。

●五十嵐 それから、自分たちの力で町や県を動かし成功させたことも大きな自信となりましたよ。その後の辛くて大変な時でも耐えることができましたから。



20年前の町青年団員は約250人いた



手づくりの土俵で白熱した試合を展開(西五百川小で)



真心のもてなしが大会を支えた(民泊先で)

連合青年団の解散は 本当に残念

●司会 そうですね。いろんなことがこの青年大会を通じて得られましたね。ところで、私たちが頑張ってきた青年団は、団員不足により三年前に解散してしまいました。これについてはどう思いますか。

●渡邊 へ良 とても残念に思います。二十年前は、青年団で町営喫茶を作ろうなんて話も出

るほどの盛り上がりだったのに。やはり時代の流れでしょうかね。

●五十嵐 今は、横のつながりは大切にしても、縦のつながりはわずらわしく感じているみたいですね。だから青年団活動も自然となくなってしまったのだしょう。

●阿部 青年団がなくなったとしても、地域の行事には参加し



当時の実行委員は今40代に。町づくりのリーダーとしての活躍が期待される
(9月9日に行われたタイムカプセル開封式での記念撮影)

特集 ● 第29回山形県青年大会朝日町大会を振り返る あの情熱を再び まちおこしに

て欲しいですね。私も結婚し、子どもが生まれ、PTAなど地域の活動にかかわるようになりましたが、地域のすばらしさを今つくづく感じています。若い人たちも、ここが自分たちの故郷だという意識を持って、もっと地域に溶け込んで和を広げて欲しいと思います。

●渡辺 へは、職業の多種多様な勤務態勢の変化など、今の社会状況を考えると、私たちの

青年大会の熱意を忘れず これから活躍していきましょう

●司会 最後にみなさんの今後の活動について何か思っていることがあれば話してもらえませんか。

●渡辺 へは、そうですね。大谷の風祭りなど守らなければならぬ地域の文化がたくさんありますので、それを受け継ぎ、子どもたちに伝えていきたいですね。

●五十嵐 今度は私たちが若い人たちを支えていかなければならない立場になったと思いますので、いろんな面で若い人たちと交流を図り、自分なりのアドバイスができれば良いなと思っています。

●渡辺 へは、何かと忙しい年

時代と同じ青年団活動を望むことは難しいと思います。これからは自然に地域に入ってこれるような雰囲気づくりが必要だと思います。そのためには、小さいうちから子どもも会活動や地域行事などに参加させることが大切なのではないでしょうか。それは、親となった私たちが果たさなければならない役割だと思います。

代になりましたが、「またみんなと夢中になって、何かしてみたい」という気持ちはありますね。たぶんほかのメンバーも同じような想いでいると思いますよ。

●阿部 そうだね。みんなで力を合わせれば、きっと何かができるはずだから、青年大会のパワーをもう一度結集させたいね。

●渡辺 へは、それには、お酒でも飲みながらみんなで相談しないといけませんね(笑)。

●司会 これからもあの青年大会にかけた熱意を忘れず、まちづくりのリーダーとしていろいろな場面で活躍していきましよう。今日は遅くまでありがとうございました。

九月定例町議会報告

議会



九月定例町議会が、九月七日から十三日まで開会されました。

人事案件や一般会計補正予算、町過疎地域自立促進計画の策定、平成十一年度決算など、二十一議案が上程され、すべて原案どおり可決されました。

◆人事

【町教育委員会委員の任命同意】

九月三十日付で任期満了となる現委員の鈴木三郎氏（西町）と原喜内氏（大谷五）の再任が同意されました。

【人権擁護委員の推薦同意】

平成十三年一月三十一日付で任期満了となる現委員の松田俊子氏（太郎二）、渡辺久喜氏（西町）、志藤正紀氏（川通）の再任推薦が同意されました。

◆町政報告

【総務課】

平成十二年度の地方交付税は、普通交付税二十七億四千二百二十九千円に確定し、前年度対比一・九％の減少となっています。

来年度の町職員採用の募集を行ったところ、一般行政職が上級職十六人と初級職六人、保健婦（士）五人、管理栄養士四人、診療放射線技師一人の計三十二人より申し込みがありました。今後試験を行い、採用を決定します。

開発センターを健康福祉センターとして整備する計画は、主に一階部分を検診などの健康福祉エリアに、二階部分は事務室

や会議室として利用したいと考えています。補修を最小限行い社会福祉協議会を移転するなど町民の利便を図っていきます。

【企画課】

過疎地域自立促進特別措置法が本年四月に施行されたことにより、新たに今後五年間の「過疎地域自立促進計画」を策定しました。

住宅団地「グリーンタウン新宿」は、これまで四十一区画を分譲しました。現在、入居済みが七戸、建築中が七戸という状況で、関東方面からの転入世帯も数件あります。年度内には新たな行政区、緑町区として発足できる見込みです。残り十二区画については、早期完売に向け今後も努力します。

【町民課】

夏の交通安全県民運動期間中、交通安全広報や人波看板、帰省客への湯茶接待などを行い、交通事故防止を呼びかけました。

【健康福祉課】

九月一日現在の六十五歳以上の高齢者は二千八百八十七人で、高齢化率は三〇・二％です。在宅の高齢者福祉の充実を図るために、訪問理美容サービスと寝具の洗濯サービスを今年度から実施しました。また、給食サービスは回数を増やし、週一

回配達しています。

【税務課】

農業所得関係について、水稻、自家用野菜畑、専門野菜畑などが平成十二年分より面積課税方式から収入金課税方式に変更されます。また、転作畑、特殊畑（ホップ、ビニールハウスなど）は、農業所得標準が無くなり、収支計算で申告していただくこととなります。

【商工観光課】

今年度の木材製品利用住宅建築助成金制度の申請は、八月末現在で十七件です。

山形新聞社主催の最上川さくら回廊事業は、十一月四日に秋葉山周辺で記念植樹行事が行われることになりました。

【農林課】

今年が最終年度となる高品質りんご生産緊急対策事業（着系つがる、昂林への更新事業）は、一〇・六ヘクタール（二千四百八十五本）の実施となっています。また、環境保全型農業の推進として、フェロモン剤利用による減農薬りんご生産事業を五・四ヘクタール（八農家）で実施していますが、設置区においてはその効果が十分認められており、一部の殺虫剤の削減も可能と考えられます。

中山間地域等直接支払い制度

は、本制度の適用を受けたい旨の申請が五十一地区からありましたが、現地調査の結果、対象となるのは二十五地区程度になると思われます。

環境保全を推進するため、農業用使用済みプラスチックの回収を十一月に再度行う予定です。

【建設課】

町道新設改良について、小原大隅線（第二工区）は既に完了し、栗木沢団地線は、他工事の残土を用いながら住宅団地の造成と並行して工事を進めています。下高野線、大谷水上線は、測量・設計業務を終え用地交渉中。大町西原線は、稲刈り後の発注を目ざし進めています。四ノ沢送橋線災害復旧工事及び朝日鉱泉線の猿渡つり橋の修繕工事は施工中です。

国道については、和合バイパス工事にかかわる沼向の遺跡調査が、九月十七日より本格的に行われます。長井大江線の川通地内の道路法面上部崩落災害に伴う全面通行止は解除されています。また、左沢浮島線大暮山地内、白滝宮宿線の太郎地内の改良工事は施工中です。

【町立病院】

患者監視装置と電動油圧整形手術台を購入しました。医師住宅建設及び患者輸送車購入は、

これから発注します。

【水道事業所】

老朽管の入れ替工事、赤釜線と三中線は工事に入りました。残りの二路線、西船渡地内と助ノ巻地内については、十月中旬に発注を予定しています。

【農業委員会】

農業者年金制度は新しい制度が決定され次第、その内容についての説明会を開催するなどして、受給者並びに加入者が新制度にスムーズに移行できるようにしたいと考えています。

【管理課】

学校施設整備再編計画について、七月十八日の立木区臨時総会において、平成十三年四月一日より立木小学校を西五百川小学校へ統合することが地区の総意として了承されました。白倉区、曲淵地区も同様に了承されています。今後は閉校に向け、地区や学校と連携をとりながら準備を進めていきます。

また、水本、送橋、上郷の各小学校については、少子化が進む中で統合止むなしということで見解の一致をみています。課題は統合の時期で、母体校の環境整備、児童の学習面や精神面でのケア、親同士の交流など、様々な課題について各地区との話し合いを進めていきます。和

合小学校については、地区の学校への思いや改築を進めて欲しいという要望が強く、話し合いは進んでいません。地区との懇談会の継続により打開策を見いだしていきたいと考えています。

町育英会の奨学金の貸与を七人に開始しました。なお、今年度は役員の改選期にあたり、これまで理事長を務められた多田積氏（大町）が退任され、新たに鈴木三郎氏（西町）が就任されました。

【生涯学習課】

町エコミュージアムコアセンター「創遊館」のオープン以来の活用状況について、施設全体の利用者状況は、視察研修を含めて約一万一千人。図書館の利用は、六月から八月の三か月間で七千七百冊を超す本の貸出がありました。

平成十年四月二十二日、朝日町文化財に指定された天然記念物「ほうき松」は、所有者と一体となり、周辺の整備や病害虫防除などを実施してきましたが、異常に気づき検査したところ、「松くい虫」に侵されていることが判明しました。今後は、関係者と十分協議し対応していきます。



交通安全母の会のみなさんが交通安全音頭を披露

交通安全町民大会

9月29日、交通安全町民大会が創遊館ホールで行われました。

この大会は、町民に交通ルールの遵守と交通マナーの高揚を呼びかけ、事故のない安全で快適な町づくりを目的として毎年開催されているもので、交通安全協会、交通安全母の会、長寿クラブ連合会、区長会などの関係者約350人が参加しました。

最初に、三保育園のカモシカクラブのみなさんが「道路には絶対飛び出しません。道路はきちんと右側を歩きます」と元気に掛け声を行った後、事故の犠牲者に対して全員で黙とうを捧げました。大会会長の清野町長は、「今年も2名の尊い命が犠牲となっている。この大会を機に交通事故ゼロを目ざそう」とあいさつ。阿部百合子西村山地区交通安全母の会会長の講話の後、「本大会の意義を心に刻み、事故撲滅に努めます」とする大会宣言が採択され、閉会しました。

◆交通安全功労者

鈴木進氏（元町）、柴田七郎兵衛氏（大町）



食改コーナーで試食

健康と福祉のつどい

「ふれあい たすけあい 心豊かなまち」をテーマにした第9回健康と福祉のつどいが9月30日、創遊館で開催されました。

式典では、寝たきり老人などを長期的に介護した福祉功労者や献血功労者、3歳児むし歯ゼロ賞の表彰が行われました。続いて、いきいきデイサービスを実施している西町長寿クラブの活動を、会長の鈴木欣一さんが発表。「気軽に集まって、楽しい一日を過ごす語らいの場をこれからも設け、継続していきたい」と語りました。

午後からは、岩手県花巻市のアマチュア劇団による介護劇が上演され、介護保険制度について理解を深めました。

- ◆福祉功労者 渡邊 滝子氏（元町）
長岡 重幸氏、もと子氏（常盤）
- ◆献血功労者 川口 正幸氏（大暮山・300回）
樋口 玲子氏（西町・50回）
熊谷由美子氏（新宿・30回）

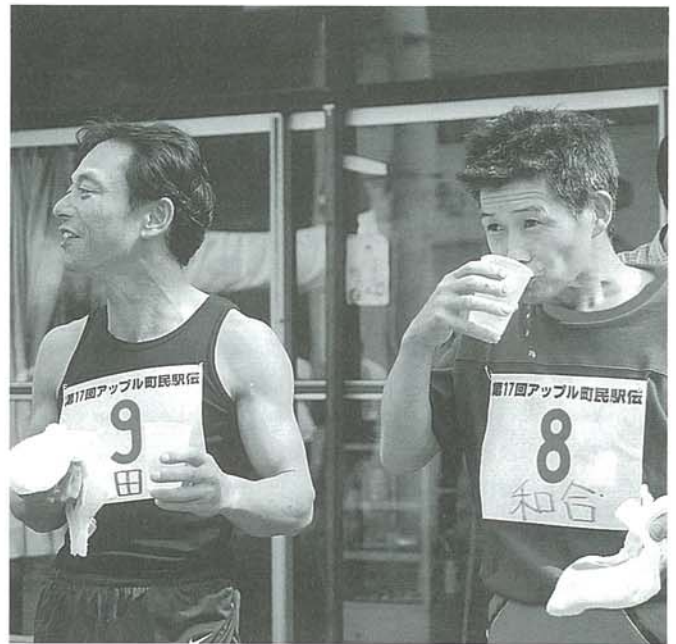
第17回アップル町民駅伝競走大会

秋の朝日路を力走



絶好の駅伝日和に恵まれた十月八日、第十七回アップル町民駅伝競走大会が行われ、町内全域から参加した十四チームが、収穫の秋を迎えた朝日路に健脚を競いました。

今年は例年と逆まわりのコースを設定。序盤は和合と太郎沢がリードしたものの、二区に入り前年度優勝の上郷と準優勝の三中が追い上げ、激しい首位争いを展開。結局、五区で上郷を引き離れた三中がそのまま逃げ切りゴールし、三年ぶりの三度目の優勝を果たしました。



無事タスキをつないだ満足感が走り終えた後に込み上げてくる



Ⅰ区は小学生。勢い良く一斉にスタート



ゼッケン12番の太郎沢チームは7年ぶりの出場



中継所はもうすぐ。さあ、ラストスパートだ

大会成績

[コース]

10区間、総距離23.4キロ

■団体成績

- ①三 中 1時間26分57秒
- ②上 郷 1時間27分19秒
- ③中沢・玉ノ井 1時間29分51秒
- ④大谷風 1時間30分45秒
- ⑤沢 内 1時間31分13秒
- ⑥和 合 1時間32分34秒
- ⑦ときわ 1時間35分06秒
- ⑧前田沢 1時間35分34秒
- ⑨大沼・大藪 1時間36分14秒
- ⑩太郎沢 1時間37分07秒
- ⑪松 程 1時間37分57秒
- ⑫宮宿B 1時間39分10秒
- ⑬宮宿A 1時間39分41秒
- ⑭大谷神 1時間49分11秒

■区間賞

- 1区 菅井 修造 (和 合)
- 2区 鈴木 幸喜 (三 中)
- 3区 渡辺 良輔 (前田沢)
- 4区 齋藤 友恵 (上 郷)
- 5区 佐藤 友美 (和 合)
- 6区 桜井 豊 (大谷風)
- 7区 安藤 剛志 (三 中)
- 8区 阿部 正昭 (三 中)
- 9区 五十嵐 肇 (中沢・玉ノ井)
- 10区 海野 裕明 (ときわ)



大健闘、中沢・玉ノ井チーム。初の3位入賞おめでとう



みんなの思いが込められたタスキをしっかりと受け取り走りだす



今世紀最後の町民駅伝大会を制したのは三中チーム

まちの話題

① 第21回朝日町ワインまつり



一晩かけて焼かれた牛の丸焼き



おいしいワインで カンパニー!!

朝日町ワインまつりが9月23日、盛大に開催されました。今年は、会場を上郷ダム公園から秋葉山運動広場に変更して実施。町内外から訪れた約2000

人が、町特産のワインと牛肉のバーベキューを思う存分堪能しました。

この日用意されたのは、ワイン2200リットルに、ぶどうジュース400リットル。さらに、もち米で飼育した町産の牛肉650キロと牛の丸焼き半頭分、ほかにテールスープやウイナーソーセージも準備。飲み放題、食べ放題とあつ

て何度もお代わりをしていました。

東京都江戸川区から訪れた橋間幸子さんは、「毎年友だちと参加しています。家は商売をしており、朝日町のワインを取り扱っていますが、東京での評判は上々です。風味高く飲みやすいワインですね」とコップ片手に笑顔で話し、朝日町の秋を楽しんでいました。

③ いきいきフェスティバル



いつまでも若々しく

いきいきフェスティバルが9月8日、創遊館を会場に盛大に開催されました。これは元気老人いきがい対策のひとつとして、町長寿クラブ連合会等で組織した実行委員会が今回初めて企画主催

したもので、約480人が参加。

午前中は介護保険の説明や歌謡ショーが行われ、午後からは芸能発表会を開催。民謡や唄はもとより、詩吟や舞踊、中にはすばらしいハーモニカの演奏も。

日ごろ鍛えている自慢の一芸に会場から盛んな拍手が送られていました。

② いきいき女性講座

心の豊かさとは何か

9月8日に創遊館ホールで、コンサート形式の講演会が行われました。

講師は、国際ボランティアセンター山形に所属し世界37カ国をまわって医療救助活動をしている山形市の精神科医師桑山紀彦氏。

この日は、貧窮にあえぐアジア、アフリカの子どもたちや戦争、紛争に巻き込まれた子どもたちの様子を大型スクリーンで紹介しながら自らの体験談

を披露すると共に、フォークソング8曲を熱唱。映像と歌と語りで、生活の豊かさ、心の豊かさとは何かを訴えかけた心温まる講演会でした。



ヤングミセスら約200人が参加

⑤ 平成12年金婚祝賀会



二人で歩んだ 半世紀の歴史

10月3日、結婚生活50年を祝う金婚祝賀会が朝日自然観で行われました。

今年の対象者は昭和26年に結婚された32組のご夫婦で、清野町長から一組一組に賀詞と記念品が贈られると、仲むつまじく二人で受け取り、満面の笑みを浮かべていました。

金婚者を代表して白田太郎さん（大谷六）が、「食料や物不足の中、子育てと戦後復興に追われた新婚時代でした。結婚式は、配給された3本の酒でささやかな祝杯を挙げただけ。あれから50年が経ち、このように盛大な祝賀会をしていただけるとは本当にありがたいことです」と謝辞を述べました。

祝宴ではデュエットをしたり、互いにお酌をし合ったりと、大変ほほえましい姿が見られました。

④ 立木小さよなら運動会

心に刻む最後の運動会

来年4月1日から西五百川小学校への統合が決まった立木小学校で9月17日、「さよなら運動会」が行われ、地区民約150人も参加し最後の運動会を盛り上げました。

いつもは児童5人で広々と使っている体育館もこの日はたくさんの人で大にぎわい。ビン釣り競争や縄ない競争などに熱戦を展開しました。

参加者は皆一様に、「学校が無くなるのはとても寂しいですね。でも、今の子どもたちのことを考えたら、統合も仕方がないことだと思います」と複雑な思いを口にしていました。



⑦ アイデア工作コンクール

伸ばそう豊かな感性

子どもたちの豊かな感性を育もうとアイジー基金を活用して、毎年開いているアイデア工作コンクール。今年は、竹で出来たカブトムシや牛乳パックで作った獅子など、アイデアあふれる作品135点が寄せられました。

審査の結果、優秀賞に輝いたのは次のみなさんです。

松田 早季（宮宿小2年）
近藤彩英香（〃4年）
菅井 大生（和合小4年）
近衛 歩（〃4年）
安藤 華奈（上郷小2年）
安藤 友哉（〃3年）



9月7日に行われた表彰式

⑥ 各種大会成績

◆町民ゴルフ大会

〈7/23 大石田ゴルフクラブ〉

- ①渡辺 定行（四ノ沢）
- ②渡辺 隆生（前田沢）
- ③今野 正昭（栄 町）

◆町民グラウンドゴルフ大会

〈9/10 朝日自然観芝生広場〉

- 男子の部 ①長岡 米夫（松 程）
②長岡石五郎（大谷五）
③渡辺 初夫（西 町）
- 女子の部 ①菅井キヨ子（大 町）
②遠藤 直子（舟 渡）
③佐竹 英子（常 盤）
- 小学生の部 ①佐竹 翼（〃）
②阿部 大樹（〃）
③鈴木 美咲（〃）

◆町高齢者ゲートボール大会

〈9/28 緑が丘公園グラウンド〉

- ①助ノ巻 ②真中 ③四ノ沢、前田沢

◆山形県中学校陸上競技選手権大会

〈9/9 酒田市光ヶ丘陸上競技場〉

- ①桜井豊（男子3000m・全国大会へ）

◆山形県中学校駅伝競走大会

〈9/15 山形県総合運動公園〉

- ③朝日中学校（男子の部・東北大会へ）

◆町民ロードレース大会

〈9/24 秋葉山交遊館周辺〉

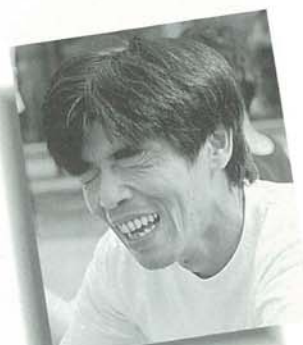
- 3、4年男子 1位 渡辺一輝（宇津野）
- 3、4年女子 〃 渡辺五月（前田沢）
- 5、6年男子 〃 菅井修造（宿）
- 5、6年女子 〃 清野支麻（送 橋）
- 中学男子 〃 鈴木貴仁（前田沢）
- 一般男子 〃 高砂 晃（宮宿小教）

◆西村山中学校新人陸上競技大会

〈9/22 寒河江高校グラウンド〉

- 最優秀選手 佐藤 圭亮
- 1位 男子総合、男女総合
〃 白田 淳（2年100m）（大谷三）
〃 鈴木 智彦（800m）
〃 岡崎 能行（1年1500m）
〃 志藤 雄人（2年1500m）
〃 佐藤 圭亮（走高跳び）
〃 佐藤 圭亮（砲丸投げ）
- 2位 男子4×100mリレー
〃 白田 淳（200m）（大谷三）
〃 志藤 雄人（800m）
〃 鈴木 貴仁（1年1500m）
〃 五十嵐 肇（3000m）
〃 熊谷 京子（1500m）
- 3位 女子4×100mリレー
〃 白田 淳（200m）（西 町）

みんなのひろば



大町／
岡崎 文彦さん
ノエルマさん

新婚さん

「朝日町は景色がきれいで大好き」と語るノエルマさんはフィリピンの出身。

2年前に天童で知り合い、昨年の11月に結婚。国際結婚ということもあり、いろんな壁を乗り越えなければならず、文彦さんは5回フィリピンに足を運んだそうです。現地で結婚式を挙げてもすぐに朝日町に来ることは出来ず、待ち遠しい文彦さんは毎日電話をかけ、電話代は月4万円にもなったとか。

ノエルマさんが作る魚を使ったフィリピン料理は絶品で、「特にビールに合うんで、体重が2キロも増えました」とウエスト周りを気にしながら話す文彦さん。妊娠5カ月のノエルマさんのおなかと見比べながら、幸せいっぱいの様子。

買い物が大好きなノエルマさん。「スーパーなどで会ったら声をかけてください」と流暢な日本語で明るく話してくれました。お幸せに！

すてきな仲間たち

⑥4

「朝日町商工会女性部」

女性の力で商工業を盛りあげます



現在部員は59人で、接客講習会や健康セミナー、いろんな事業の主催や共催など、幅広く活動しています。産業まつりや商工会感謝祭『グルメINアサヒ』ではナベ料理の達人としてなくてはならない存在になっています。

4年前から始まった『ワインの夕べ』は女性部主催の単独事業で、今では町内外に広く知られるようになりました。ワインに合う料理をみんなで考えたり、生演奏で会場を和やかにしたりと、女性らしい細やかな心遣いが人気の秘密のようです。

「お金をかけないで、みんなの知恵を出し合って、楽しみながら活動していきたい。情報交換の場として商店街に喫茶室があったらいいね」という話も出るなど、ますます張り切る商工会女性部です。

(部長／小國愛子 事務局／町商工会 ☎67-2207)

ヒューマンラプストリー。

「明日を抱きしめて」

前川麻子 著

少年犯罪に^{たい}対峙し続ける弁護士・真希。

彼女に安らぎを与えてくれたのは、愛し

てはいけなかった人だった。現代社会に問う

「北朝鮮」

日本経済新聞社 編

長年敵対関係にあった米朝両国が^{きん}紆余

曲折を経て最終的に合意に至る経緯を当

事者として綿密に再現しつつ、米朝交渉

にまつわる困難性、問題点、そして合意

の要因などを広い視野から分析検討する。

「脳男」

首藤瓜男 著

連続爆弾魔のアジトで見つけた心を

持たない男。謎だらけの存在が犯人を追

いつめ、街ではパニックが加速する。

「ああ言えばこう嫁行く」

阿川佐和子・檀ふみ 著

他人の不幸ほど、楽しくて愛しいもの

がこの世にあるだろうか。女同士の辛辣

なやり取りに一度染まったら、もうやめ

られない。抱腹絶倒の往復エッセー。



今月のおすすめ

町立図書館新刊案内

新刊

▶ゼロ発信(赤瀬川源平)▶すばらしい新世界(池沢夏樹)▶光源(桐野夏生)▶風少年(小松山博)▶八つの顔を持つ男(清水義範)▶さだめ(藤沢周)▶聖耳(古井由吉)▶ものは言いよう(平岩弓枝)▶晩夏(赤川次郎)▶黒塚(夢枕獯)

休館日

毎週月曜日と
10/31(火)

⑫



志藤 修治さん・久子さん
(栗木沢)

ひとことトーク

りんごの木オーナー制度の
園主になって

今年も真っ赤なりんごと
あたたかい交流が実ります

平成九年、町観光協会が主催する「りんごの木オーナー制度」の園主になってみないかと誘われました。園地としての条件も整っていましたので、町の観光PRになるならと引き受けることにしました。

年五回の体験作業に備え準備をしたり、毎年安定した収量を確保できるよう手入れしたりと大変な面もありますが、遠くから来てくださるオーナーたちとの交流が何よりも楽しみで、それが私たち夫婦の励みとなっています。「自分が世話したりんごを毎年孫と収穫するのが楽しみです。今年もおいしいりんごが実りました。ありがとう」などと言葉をかけてもらおうと最高の気分です。

今年もまもなく収穫の時期を迎えます。園地に明るいオーナーたちの笑い声が響くのを今から楽しみにしています。

健康と福祉 (5)

あれこれ

Q このたび七十歳になった母が健康手帳と医療受給者証をもらいましたが、どんな時に使うのですか？

A 健康手帳と医療受給者証は、老人保健制度による医療を受ける資格があることを証明するもので、お医者さんにかかる時に保険証と一緒に窓口へ出してください。

健康手帳には、治療や健康管理に役立てるために、血圧など健康審査の記録やお医者さんの診療内容、処方薬の内容が記録されます。受診する際は必ず持って行き、記入してもらいましょう。

Q 九月一日から保険証が変わり、新しいものをもらいましたが、世帯主は国保に加入していないのに保険証は世帯主の名前になっています。なぜですか？

A 国保では、世帯主が加入していなくても保険証の交付や納税通知などは世帯主に対して行うことになっています。(ただし、使うことができるのは加入者のみ)

国民健康保険証は、国保の加入者であることを証明すると共にお医者さんにかかる時の必需品です。手元で大切に保管しましょう。

有効期限のきたものやコピーしたものは使用できません



なくしたり汚して使えなくなったときは再交付を受けることができます



貸し借りは禁じられています



長期の旅行や修学などで一時的に他の市区町村に住む場合、もう一枚保険証が交付されます。



◆問い合わせ先
健康福祉課 国保医療係
(☎ 67-2116)

みなさんからのお便りでつくるコーナーです。町に対する意見や要望、みなさんのまわりでのできごとや話題、日ごろ感じていること、イラスト、質問などお待ちしております。

● 朝日町大字宮宿1115番地
あ 朝日町役場企画課企画広報係
て Eメールアドレス
先 asahif21@sm.rim.or.jp

町民の声

合併処理浄化槽の

維持費が高いのでは

先

月号で合併処理浄化槽のことが載っていましたのでお尋ねします。

朝日町の合併処理浄化槽の維持管理費が高いような気がしますが、規制緩和し一般の業者でも出来るようには出来ないのでしょうか。

【匿名】

答

合併処理浄化槽の維持管理については、大きく分けて次の二つから成り立っています。

一つは、消毒剤の補給や処理状況などを年四回調べる保守点検業務。もう一つは、浄化槽に溜まった汚泥や分解できない固形物などを年一回抜き取ったり掃除したりする清掃業務です。

保守点検業務については、浄化槽管理の資格を持ち、山形県知事に登録を申請している業者であれば誰でも出来ますが、浄化槽の清掃業務については、町長の許可を受けた業者でないと出来ません。

料金については、合併処理浄化槽を推進するために集めたいくつかの資料を見ても、朝日町

が特に高いという結果にはなりませんでした。

町が生活排水処理の柱として位置づけた合併処理浄化槽の普及促進を図るためにも、維持管理費の負担軽減は、重要な課題であると認識しています。これについては、現在鋭意研究中です。ご理解をお願いします。

【建設課】

松程トンネル前に

横断歩道の設置を

松

程トンネル前の十字路は広いので、歩行者横断用の印をつけてください。

【松程 鈴木秀治さん(76歳)】

答

おハガキありがとうございます。

ご指摘の箇所は、県道長井大江線と町道上郷太郎線が交わる十字路で、交通量の多いところでもありますので、今後、大江



地区交通安全協会とも協議した上で、警察署に横断歩道の設置を要望したいと思っています。

【町民課】

今は亡き

舅に感謝



厳

しい残暑もようやく和らいで、野菜や庭の花々もや々と秋らしく、過ごしやすくなりホッとした時、いつも思い出すのは、皆に見守られ、眠るように亡くなった舅のことです。

若くして嫁いできた私は何も分からず、子育てから家風、人間関係まで舅から学びました。特に、子どもが熱を出したりケガをした時、動転している私に豊富な経験からやさしくアドバイスしてくれ、どんなに助けられたかわかりません。また、怒ったりせず、どのような時でも静かに話をしてくれましたし、何か嫌なことがあり、卑屈になっている気持ちを自然と解きほぐしてくれました。そんな舅を私は今も尊敬しています。

昔から「嫁は姑の後を継ぐ」と言われますが、舅が私にしてくれたように、私も姑として、その教えを受け継いで行こうと思っています。

【能中 鈴木ミツエさん(69歳)】

券が
図書
当たる

広報
◆
クイズ



【問題】

①右の写真。健康で楽しい人生を送りましょう「○○○○フェスティバル」

②十四チームが力走「○○○○町民駅伝競走大会」

③昭和四十二年八月に起きた「○○豪雨による最上川大洪水」

【応募方法】

正解を「広報あさひまち」の折り込みハガキに書いて送ってください。正解者の中から抽選で三人の方に図書券をプレゼントします。また、広報記事に対する意見や感想などもお寄せください。お待ちしております。

【九月号の答え】

①国勢調査 ②フジボール卓球

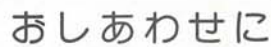
③民謡ショウ

【応募者総数】 十五人

【当選者】 朽木時さん(栄町)・大井潔さん(太郎三)・遠藤清志さん(栗木沢)



区 名	出生児氏名	性別	保護者名
西船渡	鈴木海 ^{かい}	男	武
大町	大竹遠 ^{とく}	男	清 巳
栗木沢	土肥加歩 ^{あきほ}	女	修
助ノ巻	布施真好 ^{まこと}	女	賢 一
常盤	白田莉 ^り	女	孝 一
前田沢	斎藤大 ^{だい}	男	利 春



若	月	直	樹		清	水	志	穂
(	沼	向	)	♥	(	大石田町	)	
野	村	洋	樹		鈴	木		静
(	青森市	)		♥	(	栄町	)	
長	岡		徹		高	橋	育	子
(	常盤	)		♥	(	仙台市	)	



区 名	死亡者氏名				世帯主
四ノ沢	相 座	み ゑ		本 人	
太郎一	菅 井	は る		守	
助ノ巻	佐 藤	兵 三		昭 三	
西 原	星	正 則		本 人	
西 町	村 山	正 志		純 子	
八ツ沼	阿 部	利兵衛		富士男	
沼 向	菅 井	ちよゑ		榮 治	
西 原	阿 部	シノブ		菊太郎	
川 通	志 藤	まつゑ		功 雄	

人口と世帯数

人 口	9,555人(減 15人)
男	4,759人(減 5人)
女	4,796人(減 10人)
世帯数	2,589戸(± 0戸)
	() 内前月比

みょうがと長ネギの食感が最高
アケビの詰めもの

アケビに材料を詰めてから焼くよりも簡単。
また、大量でも短時間に調理できておいしい。

毎月、何らかのテーマを決め、それに対するあなたの意見、提案などを募集します。広報紙の折り込みハガキでお寄せください。紙上匿名可。

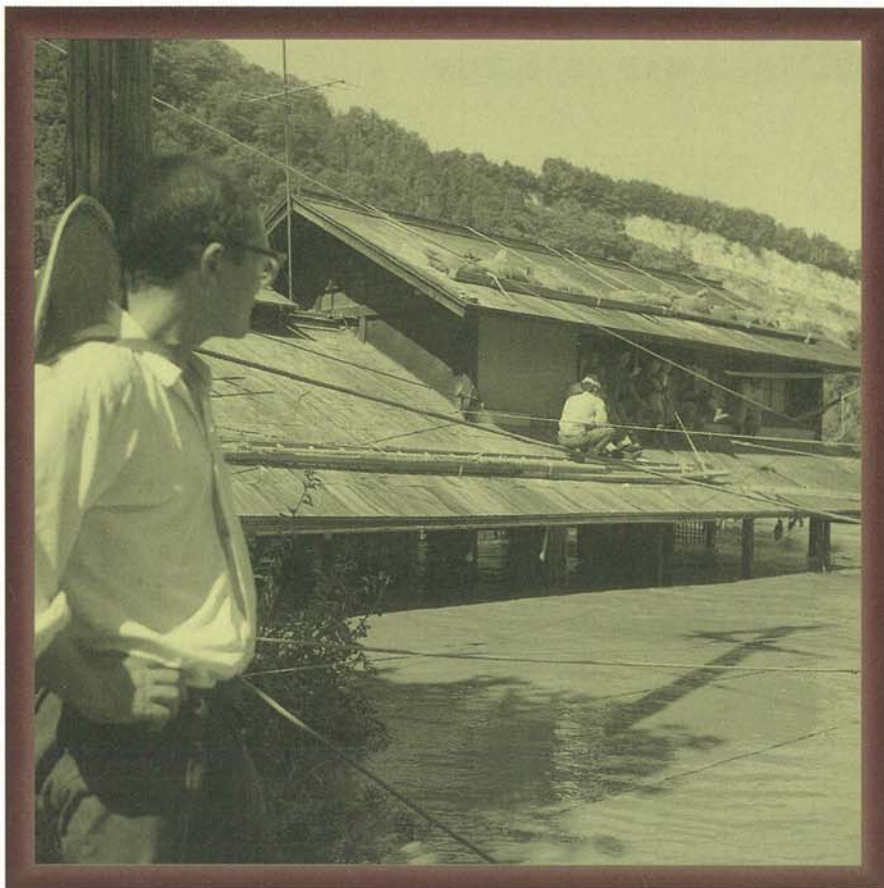
十一月号のテーマ
「若者の地域活動について一言」

締め切り 十月三十一日(火)

あなたの意見を
聞かせてください

20世紀を
ふりかえり1枚の写真

羽越豪雨による 最上川大洪水



今年9月に東海地方を襲った集中豪雨。堤防が決壊し多大な災害をもたらしたのは、記憶に新しいところです。

朝日町でも昭和42年8月29日、羽越豪雨による大洪水が発生しました。その日未明から激しく降り続いた雨は、宮宿地区で200ミリを記録。赤釜、夏草、

助ノ巻、川通など最上川沿いの各地に大きな被害を与え、痛ましくも救助作業にあたっていた方1名が流され犠牲に。

また、家屋の流失や浸水は41戸、田畑の流出や冠水は48ヘクタールにも及び、その被害総額は11億円を超える大災害でした。

情報ボックス

産業まつり

▼期日 十月二十八日(土)、
二十九日(日)

▼会場 町民体育館周辺

▼内容 商工業品の展示販売、
ダチョウとのふれあい

体験、三平汁やホタテ
の無料サービスなど

芸術文化祭

▼期日 十一月三日(金)、
四日(土)

▼会場 創造館、西部公民館、
秋葉山交遊館

▼内容 芸能発表会、華道・盆
裁・写真・書道・絵画
展、お茶会など

おわびと訂正

本紙九月号「ひとことトーク」
の中で、鈴木香葉さんが全国小
学生陸上競技交流大会「走り幅
跳び競技」で第三位とお伝えし
ましたが、「走り高跳び競技」の
誤りでした。深くおわびして訂
正いたします。



第十七回アップル町民駅伝競走大会。今年は太郎地区も七年ぶりに大会に復帰し、町全域からの出場となった。

大会前には、夜遅くまで車のライトをつけての練習風景が随所で見られ、開会式が行われた創造館ホールには選手、大会関係者はもちろん、各区の区長さん等々、座りきれない大勢の人が出席。区を挙げた町最大イベントと実感した。

春夏秋冬 編集後記

小学生から壮年までの幅広い選手層。天気にも恵まれ、各選手は地区の期待を背に必死にタスキをリレー。レースは十人抜きの快走などもあり、チームの順位の変動に一喜一憂。各中継所では婦人会の心温まるもてなしや農作業の手を休めての沿道での大きな声援もあり、ケガ人もなく全チーム無事ゴール。各チームのこの熱気が各地域、ひいては町づくりの大きな力になるに違いない。

(T)

